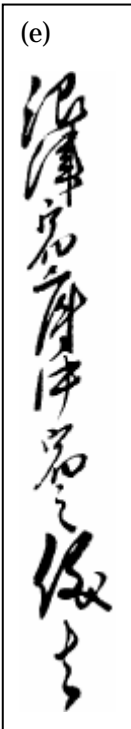


他の知識と合わせて考える



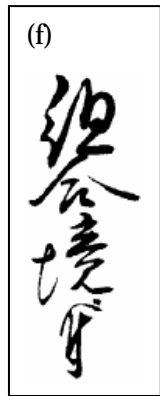
(e)は、最初の **沼** は、偏が「**氵**」(または「言」?)、
 旁は「**良**」や「**即**」にも見えます。しかし、次
 の **津** は「**津**」に見え、**宿** は、第1回で **宿** と
 出てきた「**宿**」ですから、「**津宿**」で「**沼津宿**」
 ではないか、と考えると、**沼** は「**沼**」にも見え
 てきます。

次の **府** は、**广** の中に「**寸**」というパーツが
 見えるかもしれません。見えなくても、**府** の次

の字は「**中**」で、次は「**宿**」ですから「**府中宿**」で「**府中宿**」(駿府：現在の
 静岡市中心部)のことだと、予想できるかもしれません。この辺は、歴史の知識

があった方が有利です。次の **之** は「**之**」、**儀** は「**儀**」で、これは何度か出てきていま
 さら、そろそろ大丈夫だと思います。最後の **者** は、第26回でも出てきましたが、「**者(は)**」
 です。(e)をまとめると、「**沼津宿・府中宿之儀者**」となります。

(f)は、最初の **組** が、偏は「**彳**」か「**辵**」で、旁が「**且**」か「**旦**」です
 が、第32回で **繼** (繼)の **彳** が「**辵**」でしたから、**組** の **彳** も「**辵**」と考えて
 良いでしょう。どうやら、この文章書き手は、「**辵**」を **彳** と書くようです。
 したがって、**組** は「**組**」となります。次の **合** は「**合**」です。**境** は、
 偏が「**土**」、旁は「**竟**」で「**境**」です。次の **二** は「**二**」。最後の **付** は、



の **付** を除いた部分と同じですから、「**付**」です。まとめると、「**組合境二付**」となります。
 これまでも「**付**」に **付** という表現は、よく出てきましたが、「**付**」なので」という意味で
 す。今でも使うことがあります。

